

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【公表番号】特表2002-509074(P2002-509074A)

【公表日】平成14年3月26日(2002.3.26)

【出願番号】特願2000-528300(P2000-528300)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2006.01)
A 6 1 K	47/46	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	27/14	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 K	9/70	4 0 1
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	45/08	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/44	
A 6 1 K	47/46	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	27/14	
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	37/08	

**【手続補正書】**

【提出日】平成18年1月19日(2006.1.19)

**【手続補正1】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

炎症応答に関連して、好酸球増加症、気道応答性、およびTh型応答のうちの1以上によって特徴付けられる疾患から哺乳動物を保護するための医薬の製造のための、熱ショックタンパク質の使用。

**【請求項2】**

前記疾患が、アレルゲンに対する感作に関連する、請求項1に記載の使用。

**【請求項3】**

前記疾患が、アレルギー性ぜん息である、請求項1に記載の使用。

**【請求項4】**

請求項1に記載の使用であって、前記熱ショックタンパク質が、HSP-60ファミリー熱ショックタンパク質、HSP-70ファミリー熱ショックタンパク質、HSP-90ファミリー熱ショックタンパク質またはHSP-27ファミリー熱ショックタンパク質である、請求項1に記載の使用。

**【請求項5】**

前記熱ショックタンパク質が、ミコバクテリア熱ショックタンパク質である、請求項1に記載の使用。

**【請求項6】**

前記熱ショックタンパク質が、ミコバクテリア熱ショックタンパク質-65(HSP-65)である、請求項1に記載の使用。

**【請求項7】**

前記熱ショックタンパク質が、前記哺乳動物の気道応答性亢進を低減する量で提供される、請求項1に記載の使用。

**【請求項8】**

前記医薬が、約0.1μg/Kg哺乳動物体重～約10mg/Kg哺乳動物体重の間の量で投与される、請求項1に記載の使用。

**【請求項9】**

前記医薬が、抗炎症剤をさらに含む、請求項1に記載の使用。

**【請求項10】**

炎症応答に関連して、好酸球増加症、気道応答性、およびTh型応答のうちの1以上によって特徴付けられる疾患から哺乳動物を保護するための医薬の製造のための、熱ショックタンパク質の使用であって、該医薬が、熱ショックタンパク質または該熱ショックタンパク質をコードしている核酸、ならびに薬学的に受容可能な賦形剤からなる、使用。